

浜松市立佐久間中学校

令和7年度 第4回 学校運営協議会

<次 第>

※全体進行：教頭

- 1 日程説明
- 2 会長挨拶
- 3 校長挨拶
- 4 議長の選出
- 5 前回会議録の確認
- 6 今年度の学校運営協議会の取組
- 7 熟議
 - (1) 学校関係者評価について 教務主任
 - (2) 学校運営協議会の自己評価について 教頭
 - (3) 来年度の学校運営の基本方針について 校長
 - (4) 来年度の学校運営協議会の重点について 校長

①休日部活動の地域展開 ②法改正に伴う業務量管理と健康確保措置
- 8 浜松市教育委員会教育総務課から
- 9 連絡
 - ・夢育やらまいか（CS加算分）について
 - ・健全育成会だよりの地域掲示について

日 時 令和8年2月13日（金）14：30～16：00

会 場 佐久間中学校会議室（2階）

◎ 学校運営協議会委員・オブザーバ・ディレクター一覧

☆委員

会長	高氏 秀佳	委員	鈴木 千穂
副会長	笹野 訓子	委員	本家 美佳
委員(学校支援CD)	奥山 和子	委員	片倉 美咲
委員(学校支援CD)	向坂 美保		

☆オブザーバ

大見 芳	NPO 法人がんばらまいか佐久間	長谷川陽子	佐久間図書館
鈴木 充宏	佐久間支所	山本 巖	前 運営協議会委員

☆ディレクター

新間千代子	校務アシスタントと兼務
-------	-------------

◎ 年間の学校運営協議会の日程

回	実施日	時間	主な内容
第1回	4月8日(火)	14:30~16:00	・学校運営の基本方針や本年度の協議会の目標の確認
第2回	6月10日(火)	14:20~16:00 (含交流活動)	・探究活動への助言 ・休日部活動の地域展開
第3回	10月23日(木)	14:30~16:00 (含授業参観)	・授業参観の様子をふまえ、基本方針に照らしての教育活動の評価
第4回	2月13日(金)	14:30~16:00	・学校関係者評価に基づく協議と来年度の学校運営の基本方針の承認等

◎ 生徒数および学年職員一覧

年組	男	女	計	家庭
1-A	2	4	6	4
2-A	4	3	7	7
3-A	2	6	8	8
合計	8	13	21	19

1年	主任	内山美代子	総合的な学習
	A組担任	藤田 至真	総合的な学習、情報教育
2年	主任	内山 博文	生徒指導主事
	A組担任	富永 諭召	道徳教育
3年	主任	恩田 晴久	進路指導主事
	A組担任	内山 亜結	生徒会、特活主任
	学年付き	森下 奏恵	研修主任

今年度の学校運営協議会の取組

時期	活動	主な内容	様子
3～4月	職場体験準備	・佐久間地域での職場体験先への依頼、連絡調整（約10か所）	
6月	ST探究活動 地域の方との交流会	・9月「終日探究活動の日」に向け、情報交換	
7～9月	運動場クリーンアップ作戦	・事前のチラシづくり ・回覧板での周知 ・当日の清掃活動参加	
7～10月	家庭科ボランティア	・裁縫と調理実習 7回（1回中止） のボランティア募集活動 ・当日のボランティア参加	
10～11月	あいさつ標語のぼり旗の掲示	・掲示場所探し ・掲示依頼（3種類×10枚作成し、18か所）	
10月～	CSだよりの掲示 （クラブチラシ） 健全育成会だよりの 掲示	・掲示場所への連絡 ・掲示依頼 （ふれあいセンターほか9か所）	
11～3月	家庭科 生徒オリジナル弁当 の地域販売	・事前の打ち合わせ、日程調整 （家庭科教員、販売店） ・ポスター作成、掲示依頼 ・ラベルづくり	
12～2月	生徒作品のふれあい センターまつり展示	・支所、山香、城西、浦川を1週ずつ 巡回 ・事前の打ち合わせ、日程調整 ・搬入、撤収活動	
2～3月	健全育成会だよりの 地域掲示（予定）	・掲示場所への連絡 ・掲示、撤収活動	

佐久間中学校の部活動と佐久間地域クラブについて

1 休日部活動の地域展開について

休日部活動の地域展開とは、国の方針に基づき、これまで中学校の教職員が主導で行ってきた休日の部活動を、地域のスポーツクラブや民間団体などの運営にバトンタッチしていく取組のことで、このことにより、令和8年9月から、部活動顧問(学校の教員)の指導による部活動は平日のみの活動となります。これに合わせるかたちで、さらなる上達を目指す生徒の活動の機会の確保のため、そして、生徒がスポーツや文化活動を通して自分の可能性を広げ、地域住民との交流もできる場として、「佐久間地域クラブ」が発足し、令和7年の9月から活動が始まっています。現在は部活動と佐久間地域クラブが合同で活動していますが、令和8年9月から、休日は佐久間地域クラブの活動となります。



2 佐久間中学校の部活動について

(1)部活動の目的

- ・「やってみたい！」と思うものに自分から参加をし、技術を身につけたり、達成感を味わったりする。
- ・学年を超えた仲間との活動の中で「協力すること」や「責任を持つこと」を学びより良い人間関係をつくる。
- ・スポーツや文化に親しむ姿勢を身につけ、大人になっても楽しむことができるものに出会う。

(2)佐久間中学校の部活動の種目等

- ・陸上競技部 ・弓道部 ・女子ソフトテニス部 ・芸術部(音楽・美術)

(3)活動について

- ＜指導・引率＞ 部活動顧問(佐久間中の教員・部活動指導員)
- ＜活動日＞ 平日 火・木・金 ＜活動時間＞授業終了後 2 時間程度
- ＜活動場所＞ 佐久間中学校 ＜費用＞教育後援会費(年 1,000 円)

(4)大会参加について

- ・中学校体育連盟、中学校文化連盟主催の大会等に学校の代表として参加
- ・上以外の大会については調整中



3 佐久間地域クラブ(浜松市認定地域クラブの『はまクル』に加入予定)

(1)佐久間地域クラブの目的(部活動の目的を継承しながら)

- ・佐久間中学校部活動で活動している種目等のさらなる上達を目指す。
- ・部活動にある種目を通して、自分の可能性を広げ、地域住民の交流の場とする。

(2)佐久間地域クラブの種目等

- ・陸上競技 ・弓道 ・ソフトテニス ・吹奏楽
- ※自分の所属している部活動とは違う種目にも参加することができます!

(3)活動について

- ＜指導＞ 地域の指導者
- ＜活動日＞ 休日(土・日・祝)の種目ごとに指定された日(月1~3回程度) ＜活動時間＞ 3 時間程度
- ＜活動場所＞ 主に佐久間中学校、瞑想館 ＜費用＞ 地域からの支援金+会費(保険料)
- ＜参加方法＞ 佐久間中学校「地域クラブ通信」(回覧)の二次元コードから申し込み

(4)大会参加について

- ・大会参加については調整中



佐久間以外の浜松市認定地域クラブ『はまクル』にも自由にも参加可能

	佐久間中学校 部活動	佐久間地域クラブ
目的	<ul style="list-style-type: none"> ○充実感や達成感 ○より良い人間関係 ○生涯スポーツ・文化活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○部活動の目的を継承 ○さらなる上達 ○地域の交流の場
種目	<ul style="list-style-type: none"> ○陸上競技 ○弓道 ○女子ソフトテニス ○芸術(音楽・美術) ※自分で決めた種目に所属 	<ul style="list-style-type: none"> ○陸上競技 ○弓道 ○ソフトテニス ○吹奏楽 ※部活動とは違う種目に参加してもよい
指導者	部活動顧問(佐久間中学校の教員) 部活動指導員	地域の指導者
活動日	平日(火・木・金)	休日(土・日・祝)の種目ごとに指定された日 (月1~3回程度)
活動時間	2時間程度	3時間程度
活動場所	佐久間中学校	佐久間中学校・瞑想館
活動費用	教育後援会費(年1,000円を年度当初に集金)	一人1回500円分を地域からの支援金より支出 ※会費の徴収を検討中(主に保険料)
大会参加	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校体育連盟・中学校文化連盟の大会に参加 ・その他の大会については調整中 	・大会参加については調整中

1. 運営母体と会合について

① 運営母体

現状 学校運営協議会 が 佐久間地区地域クラブ を兼ねる
 課題 別組織としなければならない

R8 役職 (案)	氏名	備考
会長	高氏 秀佳	前・運営協議会会長
副会長	新・会長	新・運営協議会会長
役員	鈴木 千穂	弓道指導者 代表
役員	澤村 晃央	陸上指導者 代表
役員	月花 明生	中学 PTA 会長 (4~8 月)
会計・事務局	片倉 美咲	ソフトテニス指導者
監査	鈴木 政晴	佐久間中学校 教頭
顧問	小出 義幸	佐久間中学校 校長

② 会合

当面は、運営協議会終了後、そのまま地域クラブ運営委員会（仮称）開催
 高氏会長、千穂先生には運営協議会オブザーバとして参加→運営委員会へ

2. 浜松市認定「はまクル」登録について

場合によってはオンライン参加も可

はまクル認定クラブ	
対象	クラブごとに設定可
指導者	・人材バンクの利用 ・指導を希望する顧問
活動場所	中学校施設や公共の施設
大会への参加	○ 競技・種目で異なる
参加費等	受益者負担を基本 ※団体・指導者・参加者への支援を検討中

テニス (片倉) 1人、陸上 (光星、澤村) 2人
 弓道 (千穂、市村夫妻、守下、日名地) 5人

✓ はまクル認定クラブへの支援 (検討中)

- ◆ 中学校施設の優先かつ無償での使用
- ◆ 指導者の確保が難しいクラブに対し、人材バンクに登録する指導者をマッチング
- ◆ クラブの創設や運営に関わる相談
- ◆ クラブの運営負担を軽減するサービスの提供 など

✓ 中学校施設及び学校備品の無償使用

- ◆ 休日の昼間 (8:00~17:00) に限り、中学校施設の無償かつ優先使用が可能
- ◆ 借用願の提出で学校備品の使用が可能 (貸出可能な備品リストの整理)
- ◆ 校舎内の使用については、職員室等にセキュリティがかけた状態で、各学校の判断で使用可能

✓ 指導者にかかわること

- ◆ はまクル人材バンクをつくり、活動に関わる指導者や指導を希望する方をすべて人材バンクに登録
- ◆ 指導者研修の充実 → 研修動画の作成 (浜松市地域スポーツ指導者養成講習会の研修内容と連携)

3. 活動費について

【ここまでの生徒一人1回¥500の活動費で委託することを前提とする】

① 活動費の分配

現状 補助金を部員数で分配
 課題 生徒人数による格差が大きい
 提案 割り方を変更する（生徒人数比 → 指導者人数比）

【1回あたりの活動費】月総額：一人¥500×17人=¥8500

R7実績/回	テニス	弓道	陸上	音楽
人数（生徒/指導者）	1 / 1	10 / 5	6 / 2	3 / 1
部員数割り （指導者一人当たり）	¥500 （¥500）	¥5000 （¥1000）	¥3000 （¥1500）	—
指導者数割り （指導者一人当たり）	¥1063 （¥1063）	¥5270 （¥1054）	¥2125 （¥1062）	—
均等割 （指導者一人当たり）	¥2833 （¥2833）	¥2833 （¥567）	¥2833 （¥1416）	—

※1 弓道は連盟なので**指導者5人**とした。

※2 音楽は部活動指導員が有給のため、活動費を分配していない。

② 運営資金とクラブ会費の徴収

現状 補助金のみ
 各競技 月1回×年間10回で補助金を使い切る（**3競技×10回**）
 指導料ではなく、活動費としている（道具購入、交通費）
 課題 月1回（年10回）の活動で補助金を使い切る
 提案 補助金2団体+クラブ会費で充当する

クラブ費 小中学生は半期¥2000（うち保険料¥850/年）：受益者負担の原則
 ※市の調査では、月会費¥2000～¥4000を想定
 一般は「協力してくれるスタッフ」として無料
 ※保険加入希望者には保険料（¥1800/年）のみ自己負担
 効果 クラブ活動日を増やせる（各種目 年間20回程度）
 一般参加者が協力しやすくなる

・集金の手間を考えると半期を**予定**
 ・4～6月は回数を**増やしても可**
 ・3競技で**年間60回程度（3×20）**

③ 必要な経費

【指導者】保険加入費、研修会への参加旅費
 【事務局】連絡用携帯電話の通信費（¥1000/月）、手続きにかかる手数料

4. 水窪中の加入について

- ・規約の「地域住民」の変更
- ・費用負担の応分（佐久間・健全育成会等からの補助金と同額の負担）
- ・佐久間向けの運営に全面理解の上で



回覧

2月号

令和8年1月8日発行
第8号

佐久間地区 地域クラブ 2月の予定

まだまだ寒い日が続きますが、春はそこまで来ています。中学生と一緒に体を動かしたり、楽器を演奏したりして、楽しい時間を過ごしてみませんか。

- ソフトテニス 2月21日(土) 8:00~10:00 佐久間中学校 テニスコート
- 弓道 2月21日(土) 9:00~11:00 瞑想館(浦川)
- 陸上 2月21日(土) 8:00~10:00 佐久間中学校 運動場
- 芸術(音楽) 2月14日(土) 8:00~10:00 佐久間中学校 3階



- ・申込はQRコードからお願いします。 申込→
- ・申し込み後、そのまま連絡網登録のページにすすんでください。 QR

申込期間 1/9(金)~2/5(木)

クラブ指導者の紹介【弓道】

指導者 弓道連盟佐久間支部の皆さん
弓道の魅力 こどもからお年寄りまで年齢に関係なく楽しめる生涯スポーツです。



活動予定日や連絡はこちらから→

佐久間 地域クラブ



R7 佐久間中学校 学校評価（自己評価）

回答人数 20人 21人 11人 7人

1 目指す学校	生徒	保護者	教員	協議会
①学校は、生徒一人一人の個性や気持ちを大切にしている。【一人一人が主役となって輝く学校】	100	100	100	100
②学校は、安全で安心できる場所である。【安全で安心できる温かな学校】	100	100	100	100

2 目指す生徒		生徒	保護者	教員	協議会
【多様な考えを受け止め、多様な見方ができる生徒】・・・かかわる力					
①生徒は、自分と違う考えの他者を受け止め、多様な見方をしている。	中高交流会 地域との交流	100	100	100	86 6人
②生徒は、自分の思いや意見を表現したり他者の考えに触れたりして、広い視野や多様な視点で考えようと努めている。	ST体験活動 世代間交流	95 19人	95 20人	100	86 6人

【自ら働きかける気概をもち、実践できる生徒】・・・みつめる力		生徒	保護者	教員	協議会
③生徒は、自分の役割を責任を持って果たそうとしている。	合同体育祭 文化発表会	100	100	100	100
④生徒は、何事にも全力を尽くし、課題や目標に向かって計画を立て実行している。	立志式 マラソン大会	100	100	100	100

【未知の状況にも対応できる実践力をもった生徒】・・・ふかめる力		生徒	保護者	教員	協議会
⑤生徒は、自ら課題を見つけ、協働的な学びを通して課題解決しようと努めている。	ST終日活動 メタ認知講座	90 18人	100	100	100
⑥生徒は、学習や取組を振り返り、自分が得意なこと（できること）と苦手なこと（できないこと）を把握し、学習の仕方に調整や改善を加えようとしている。	スマートグラス体験	100	85 18人	54 6人	86 6人

【新たな価値を創造し、自己の成長につなげる生徒】・・・かなえる力		生徒	保護者	教員	協議会
⑦生徒は、授業で学んだことを日常的な場面で生かそうとしている。	STリサイタル 修学旅行	90 18人	95 20人	90 10人	86 6人
⑧生徒は、郷土の「人・もの・こと」に学び、郷土を大切にしようとする気持ちを持っている。	職場体験 佐久間夢講座	100	100	100	100

評価については5段階（1 そう思う 2 だいたいそう思う 3 あまりそう思わない 4 そう思わない 5 わからない）で行った。上記の数字は1と2をあわせた肯定的にとらえている意見のパーセンテージを示している。
★協議会の86%（6人）の残り1名の回答は「わからない」である。

1 目指す学校 【一人一人が主役となって輝く学校】【安全で安心できる温かな学校】 → 4者とも高い数値を示している。昨年度はそう感じていない生徒や保護者がいたが改善されている。
2 目指す生徒 【多様な考えを受け止め、多様な見方ができる生徒】・・・かかわる力 → 4者とも高い数値を示しているが、生徒数が少ない中で「多様な」の捉え方が難しくなっている。
【自ら働きかける気概をもち、実践できる生徒】・・・みつめる力 → 行事においては役割を責任をもってしっかり果たそうとしている。
【未知の状況にも対応できる実践力をもった生徒】・・・ふかめる力 → 自ら課題を見つけたり、協働的な学びを通して課題解決することが苦手な生徒が若干いる。 「調整や改善を加えている」かの判断が難しく、学力が定着しない課題も浮き彫りになっている。
【新たな価値を創造し、自己の成長につなげる生徒】・・・かなえる力 → 教科やST（総合）で得た学び方やまとめ方などを、別の場面でも生かすことができるようになってきている。

<本年度の目標>

『こころざしをもち、共に高め合う生徒の育成』の学校教育目標の下、連携型中高一貫の特色を生かしつつ、さまざまな人と関わりながら高め合える教育活動を行う。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

よくできた5 できた3

- ・ 教育用語の中でも新しい考えに基づいて示された言葉でしたが、熟議の中で確かめることができた。
- ・ 不明な点について質問し、理解を深めることができた。互いに発言しやすい組織づくりがなされていると感じた。
- ・ 基本方針の説明を受け、グランドデザインもより分かりやすい言葉となり理解できたことで各委員も活発な意見交換ができたと思う。
- ・ グランドデザインについてわかりやすい言葉であったり、教師の立場を踏まえての表現であったりすることを、学校側からの説明も理解しやすくてとてもよかったと思う。
- ・ 委員一人一人が生徒のことを真剣に考え熟議し、発言することができていたと思います。
- ・ 説明を聞いて、理解・納得できる内容でした。
- ・ 前年度の身に付けたい4つの力を継続しつつ、活発な議論がされ、基本方針の内容を確認しながらわかりやすく修正していくことができた。
- ・ 校長からは学校・生徒の実態をもとに分かりやすい説明がされた。市教委の動きに触れることもあった。また委員からの質問に対しても丁寧な回答がされ、協議は熟議と言って良いと思う。

【総括】

西田校長から小出校長に引き継がれた経営方針が、生徒、保護者、教職員に浸透し、生徒に身に付けさせたい4つの力（かかわる力・みつける力・ふかめる力・かなえる力）が着実に身に付いてきているように感じる。一方で、自己評価項目「自分の苦手なことを把握し、学習の仕方に調整や改善を加えようとしている」の保護者、教員の数値が低く、学習した内容の定着が良くないこと、生徒が調整や改善しようとしているのか図りかねることなどの課題も明らかになっていることが分かった。運営協議会としても、どのような支援活動ができるか次年度の議題に挙げていきたい。

9月から試行を始めた「佐久間地区 地域クラブ」も、年度当初からの準備を経て、運営協議会委員の協力もあって順調に動き始めた。新年度からはまクル登録、また9月からの完全実施に向け、平日の学校部活動と連動し、小学生や地域住民も含めた佐久間の実態に合った活動となるよう支援していきたい。

＜評価項目2＞承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

よくできた4 できた4

- ・ 授業を参観して、生徒のまちがいや失敗を大切に扱う指導に対して、基本方針を意識した発言が多く見られた。休日部活動の地域展開については、進捗について理解できた。
- ・ 互いの意見交換がよくできていたと思う。
- ・ ST活動や参観会等に出席させていただいたことで、生徒たちの身につけたい4つの力について、よく理解できたと共に休日部活動の地域移行についても、地域と学校の連携について熟議できたと思う。
- ・ それぞれの立場において、意見を言ったり支援したりすることができていたと思う。
- ・ 行事1つ1つを振り返り、協議し、反省し、次に生かせるよう熟議できていたと思います。
- ・ 特に休日活動（部活動）について話し合うことができたと思います。
- ・ ST地域交流会では、難しいテーマもあり、より地域について積極的に取り組む姿勢が伝わった。事前に生徒の取り組むテーマが分かれば、委員や地域の方が資料等を準備もでき、よりよい意見交換の場になったのでは。
- ・ 生徒数の減少、地域の人口減少・高齢化等、課題が多い中、支援活動の可能性について良い意見が委員から出されていた。

【総括】

学校支援活動を通じて、地域の人・こと・もの、といった教育資源を活用する教育活動を支援することができた。特に総合的な学習の時間の個別探究活動の意見交換会や終日探究の日には、前年度を上回る質の高い具体的な質問をする生徒の姿が見られ、4つの力が確実に育っている実感が得られた。2年目となる、夢育やらまいか（CS加算）による金銭的な支援をタクシー借り切りに充てたことで、充実した取材活動ができたとの報告も受けた。一昨年度来の熟議が実を結んだ成果と言える。今後も生徒の活動を充実させるための支援活動を継続していきたい。

休日部活動の地域展開についても、完全実施となる9月に向け、引き続き「持続可能な」「佐久間の実態に合った」形を模索する議論を重ねていきたい。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

充分に行った3 行った3 あまり行わなかった2

- ・ 浜松市教委より、特にどこまでの情報発信をするかの規定はないとの発言があり、現在の状況の中では充分にできていると思う)
- ・ 地域の回覧板は早く回すことが求められるため、せっかくの情報もゆっくり見てもらえないのではないかと心配される。各戸配布の難しさもあり、一番良い方法を考えていきたい。
- ・ 学校の様子は回覧板等で知らせることはできていると思いますが、協議会での協議結果については、あまり情報発信はできなかった。
- ・ たよりの発行や掲示など、十分な情報発信ができていたと思う。
- ・ CSだよりを回覧板で回したり、地域のお店や施設に掲示したり、目にする機会は増えたと思う。
- ・ 自分から発信することがあまりできませんでしたが、聞かれたことに対しては答えられました。
- ・ 回覧板で特に令和8年9月に向けた休日部活動の地域展開の状況について、CSだよりにより、詳細な情報、参加者の募集や各クラブの活動状況や予定など、情報発信できていた。
- ・ 回覧板の限界を克服する方法の工夫などの努力があった。

【総括】

昨年度の総括において、「運営協議会の協議結果について情報発信できたか」ではなく「協議内容が反映された学校教育活動について情報発信できたか」という視点で自己評価してはどうか、という結論になった。それを踏まえた今年度、情報発信を強化する手だてとして、CSだより（地域クラブ通信）の発行を始め、回覧板や地域の事業所への掲示など、運営協議会が関わる教育活動の広報活動を強化した。支援コーディネーターを中心に、学校と地域を繋ぐ役割は十分果たせたと感じている。高齢者が多いこの地区では、社会のデジタル化に追いついていけない難しさもある中で、たよりの発行と掲示という手間暇かかる活動で地道に支援していけたらと考えている。

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- ・ 地域のつながりを大切にし、生徒一人一人が輝く学校に。休日部活動の地域展開がしっかりと地に足をつけた展開を。
- ・ 文化活動発表会の合唱、感動しました。学校教育目標や取り組みが表れていたと思います。ありがとうございました。
- ・ 休日部活動の地域移行等、様々な環境の変化がある中で、生徒たちが充実した学校生活を送ることができるよう地域として協力していく。
- ・ （クリーンアップ作戦）委員がボランティア活動の主体とならなくてもいいような活動についての働きかけができるとうい。
- ・ （職場体験）生徒の将来を見据えた活動ができるよう支援していきたい。
- ・ 新しく始まった地域クラブを多くの方に知ってもらえるよう議論し、発信していきたい。
- ・ 来年の9月から本格的に休日部活動の地域展開が始まるので、体制や細かい部分等、決めていけるようにしたいです。
- ・ 今年度の目標を大きく変更することなく継続し、この学校でのメリットを最大限に活かせるよう、地域との結びつきを大切にし、人づくりしていただきたい。
- ・ 本年度の目標を継続し、更なる充実を図ることで良いと思う。

【総括】

生徒に身に付けさせたい力を踏まえ、支援するための人的、経済的サポートのしくみを提案し、地域資源の掘り起こしを進めてきた。少人数だからこそ取り組める活動を継続し、地域とのつながりを常に意識し、生徒一人一人が主役となって輝く学校づくりのサポートをしていきたい。一方で、学習した内容の定着が良くないこと、生徒が自己調整できているのか図りかねることなどの課題も明らかになったので、運営協議会としても、どのような支援活動ができるか次年度の議題に挙げていきたい。

また、令和8年9月から完全実施される部活動の地域展開について初年度となることから、学校と地域を繋ぐ一助となれるよう学校と共に議論を重ねていきたい。

《浜松市の目指すこどもの姿》

- 自分らしさを大切にすることも
- 他者と協働し、主体的に行動できることも
- 自己調整しながら、粘り強く取り組むことも



《校訓》

真志

《中学校区の目指す子供》

志をもち、自分らしく
逞しく生き抜く子供

【学校教育目標】

こころざしをもち 共に高め合う生徒

【目指す学校像】

佐久間地域に根差した『安全で安心』できる温かな学校
『なりたい自分』と出会い 実現に向けて試行錯誤できる魅力ある学校

かかわる力

多様な意見を受け止め 多様な見方ができる生徒

- 自分と違う考えの他者を受け止め、多様な見方をすることで自己の成長につなげる。
- 他者との対話的・協働的な学びを通して、広い視野や多様な視点で考える。

みつける力

自己決定にもとづき 主体的に行動できる生徒

- 自分の役割を責任をもって果たし、集団に貢献することで自己有用感を高める。
- 何事にも全力を尽くし、新たな課題や目標を見つけ、それに向かい計画を立て実行する。

ふかめる力

未知の状況にも対応できる実践力を持った生徒

- 自ら課題を見つけ、他者との対話を通して思考を深めながら課題解決に向かう。
- 学習や活動を振り返り、自分に向き合い、自身で学びをコントロールする自己調整力を身につける。

かなえる力

新たな価値を創造し 自己の成長につなげる生徒

- 学びを将来の自分や実社会とつなげて考え実践に結びつける。
- 郷土の「人・もの・こと」に学び、郷土を大切にしようとする気持ちを実践に結びつける。

「なりたい自分」の4つの実践力に向けて

＜特色ある教育活動＞

中高合同体育祭 合同マラソン大会 中高交流会 佐久間夢講座
文化活動発表会 ST地域探究活動 地域学校協働活動

連携型中高一貫教育

保護者・地域に信頼される“温かな学校”

- 少人数の良さを生かし、一人一人を大切に**教育活動を展開する**
 - ・生徒理解を基盤とし、気持ちに寄り添う温かな支援
 - ・生徒一人一人が自分らしさを発揮し活躍できる場
- 地域性を生かし、多様な連携・協働を推進する**
 - ・学校運営協議会を生かした「地域ぐるみ」の教育活動
 - ・中高交流を通じて「近い将来の自分」をイメージ
 - ・郷土の「人・もの・こと」を題材にした探究的活動
- 組織的な教育力「チーム佐中」で学校を動かす**
 - ・保護者・地域・専門機関・学校が「連携」、「協働」し、チームとして学校を運営

生徒の手で作る“魅力ある学校”

- 短期的、長期的な目標設定で自己調整力をはぐくむ**
 - ・すべての教育活動において身につけたい4つの力の視点を持ち、目標設定と振り返りを充実
- “導く”と“委ねる”から「自律した学び」を創造する**
 - ・他者との対話をもとに思考を広げ深める生徒
 - ・生徒を効果的に「支える」ことができる教師
 - ・ICTを有効に活用した学習者主体の授業
- 小規模校ならではの特色ある学校づくりを推進する**
 - ・生徒が「自分たちでできた」を実感できる特別活動
 - ・佐久間分校・水窪中との中高一貫教育の充実

社会に開かれた教育課程

佐中コミュニティ・スクールを生かした学校運営

地域ぐるみの人づくり

◎Memo

--

◎R8の学校運営協議会の日程(案)

月	日	曜	会合名	時間	備考
4	9	木	第1回学校運営協議会	14:30~16:00	・入学式後、学校運営の基本方針や本年度の協議会目標の確認
6	9	火	第2回学校運営協議会	14:20~16:00 含む交流活動	・総合的な学習における各生徒の探究活動への助言を通して教育活動の実際を知っていただき熟議に活かす。
10	22	木	第3回学校運営協議会	14:30~16:00 含む授業参観	・授業参観の様子をふまえ、基本方針に照らしての教育活動の評価
2	12	金	第4回学校運営協議会	14:30~16:00	・学校関係者評価に基づく協議と来年度の学校運営の基本方針の承認等